



三原内港再生基本計画策定に係るワークショップ

NEWS LETTER Vol.02

令和2.12.1



ワークショップ開催概要

三原内港再生基本計画策定に係るワークショップ 第2回を11月15日に開催しました。

三原内港の活性化に向け、まち歩きを行い、前回ワークショップの振り返りと内港の現状と課題を確認した上で、意見交換を行いました。

ワークショップには岡田市長も出席し、開会挨拶の中で三原内港エリアの再生に向け市民が楽しく積極的に意見交換して頂きたいと挨拶がありました。

参加者は、三原内港に関係する地域住民や商業・観光・交通に関係する事業者や団体など計38名で7つの班に分かれて活発な意見交換を行いました。

意見交換の内容は「三原内港のどこをどのように活用したいか」「今後どのように運営して三原内港を盛り上げていきたいか」「三原内港再生のコンセプトについて」というテーマで行われ、様々な活用方法と今後の運営・企画について、意見が出されました。

第2回ワークショップ

【開催日時】

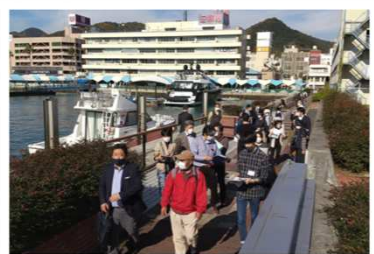
令和2年11月15日（日）
13時15分～14時 まち歩き
14時～17時 ワークショップ

【開催場所】

中央公民館

【参加者】

まち歩き : 36名
ワークショップ : 38名



まち歩きの様子



岡田市長挨拶



意見交換の様子



発表の様子

第2回ワークショップまとめ

■ 三原内港再生のコンセプト

- (A) 地元も観光客も楽しめる港
- (B) ぶちうみや〜港
- (C) ミハラシミナト ～にぎわいとたたずみの港～
- (D) 生活を楽しみ、楽しみがつながる三原内港
- (E) つなぐ（駅と港、周遊施設と港、離島と港、空港と港）
- (F) 港から魅力発信！～新幹線からすぐ港！～
- (G) 水際生活（すいさいせいかつ）～三原ハーバーランド～

【キーワード】

- ・つながる（陸海空）（離島や観光客）（情報発信）
- ・（誰もが）楽しめる
- ・美味しい（特産）
- ・景観（見晴らし）（親しみ）

■ 内港のどこをどのように活用したいか？

- ・三原独自の親水空間（広場・遊具・雁木とか）
- ・港湾ビルの建替え（3階以下）
- ・公園エリア：花のある和（なごみ）のあるスペース・ウッドデッキの整備
- ・開放感ある広場
- ・駐車場はイベント利用、離島の活用、ワーケーション（IT化で活用しやすい港）
- ・イベントスペースをつくる
- ・デッキカフェ
- ・ステージ、子どもの遊び場、船のパーキングと倉庫整備
- ・港湾ビルの地下に駐車場⇄地下通路とつなげる

■ 市民や団体の関わり方・役割など

【内港・離島・イベントのPR】

- ・各所にデジタルサイネージを設置し、イベントによってサインを変えてPR
- ・港を使えることをPR
- ・筆影山からのきれいな景色などをPR
- ・離島からにぎわい創出に向けたPR

【三原産の販売】

- ・観光ボランティア・まちづくり隊と連携し、三原の特産品を販売
- ・各島の農家さんへ協力して頂き、島の農作物を販売

【イベントの開催・サポート】

- ・近隣に迷惑をかけない仮設イベント
- ・将来の開業を目指す人のためのチャレンジショップ支援
- ・音楽イベント、かき小屋、骨董市、七夕、臨時イベント、土曜日
- ・イベント開催時の手続きの簡素化
- ・内港周辺の商店街とともにピアガーデン等、一体感のあるイベント
- ・イベントや観光振興のサポートの充実（拡充）

【体制・連携づくり】

- ・シルバー人材の活用、漁業組合との連携
- ・商工会や市のイベント団体等との連携
- ・地域おこし協力隊等の力も借りて実施
- ・内港周辺の事業者や観光客、市民がコミュニケーションをとれる共同体等
- ・地元の学生、大学生などと連携した取り組み
- ・地元の店舗と連携した取り組み

【使いやすい港】

- ・港の設備等をシステム化、IT化
- ・船の運行面において柔軟な対応

問い合わせ・連絡先

三原市 建設部 港湾課 管理係（担当：安藤・宮岡）
所在地：〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号
電話：0848-67-6108 / FAX：0848-64-6057
E-mail：kowan@city.mihara.hiroshima.jp

三原内港再生基本計画策定に係るワークショップ（第2回）
各班の主なご意見



三原内港再生コンセプト

地元も観光客も楽しめる港

議題
凡例

- 1 三原内港をどう活用したいか（活用途）
- 2 どこを活用したいか（配置）
- 3 今後どのように運営し、三原内港を盛り上げてきたか（運用方法）
- 4 三原内港の再生コンセプト

□：活用途 □：運用方法



三原内港再生基本計画策定に係るワークショップ（第2回）
各班の主なご意見



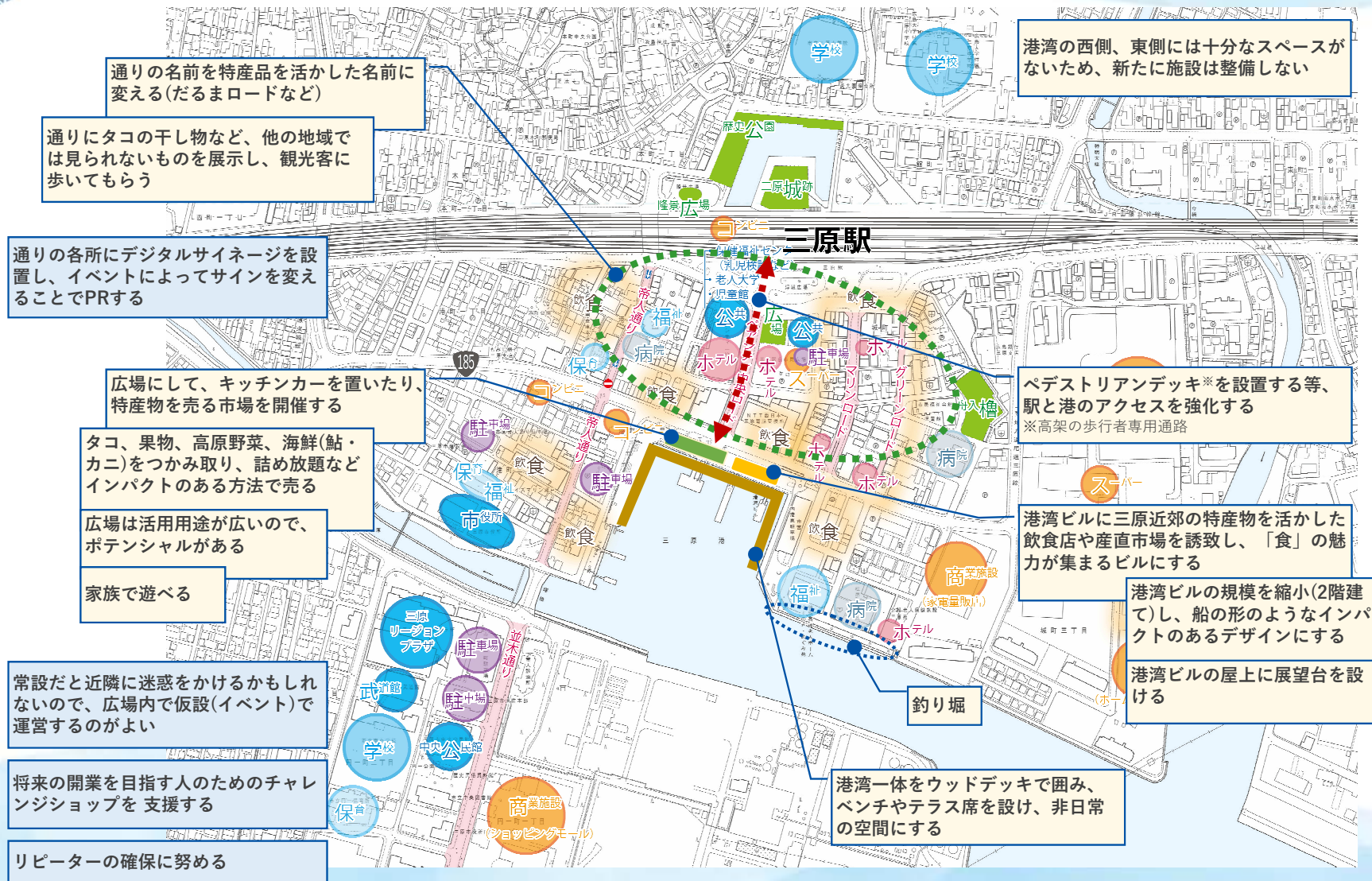
三原内港再生コンセプト
ぶちうみや〜港

議題

- 1 三原内港をどう活用したいか（活用用途）
- 2 どこを活用したいか（配置）
- 3 今後どのように運営し、三原内港を盛り上げていきたか（運用方法）
- 4 三原内港の再生コンセプト

凡例

□：活用用途 □：運用方法



通りの名前を特産品を活かした名前に変える(だるまロードなど)

通りにタコの干し物など、他の地域では見られないものを展示し、観光客に歩いてもらう

通りの各所にデジタルサイネージを設置し、イベントによってサインを変えることでPRする

広場にして、キッチンカーを置いたり、特産物を売る市場を開催する

タコ、果物、高原野菜、海鮮(鮎・カニ)をつかみ取り、詰め放題などインパクトのある方法で売る

広場は活用用途が広いので、ポテンシャルがある

家族で遊べる

常設だと近隣に迷惑をかけるかもしれないので、広場内で仮設(イベント)で運営するのがよい

将来の開業を目指す人のためのチャレンジショップを支援する

リピーターの確保に努める

港湾の西側、東側には十分なスペースがないため、新たに施設は整備しない

ペDESTリアンデッキ※を設置する等、駅と港のアクセスを強化する
※高架の歩行者専用通路

港湾ビルに三原近郊の特産品を活かした飲食店や産直市場を誘致し、「食」の魅力が集まるビルにする

港湾ビルの規模を縮小(2階建て)し、船の形のようなインパクトのあるデザインにする

港湾ビルの屋上に展望台を設ける

港湾一体をウッドデッキで囲み、ベンチやテラス席を設け、非日常の空間にする

三原内港再生基本計画策定に係るワークショップ（第2回）
各班の主なご意見



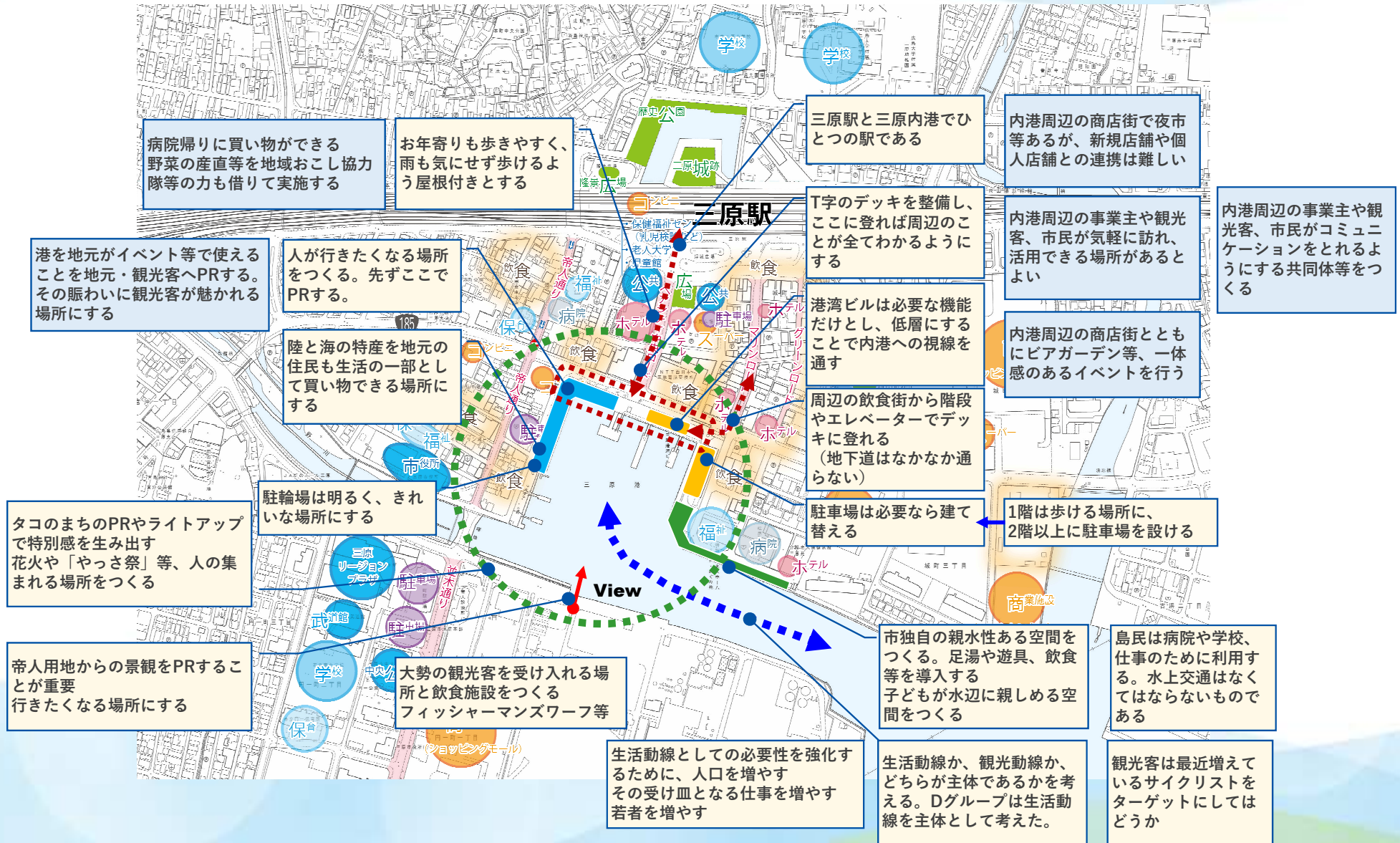
三原内港再生コンセプト

生活を楽しみ、楽しみが繋がる三原内港

議題
凡例

- 1 三原内港をどう活用したいか（活用用途）
- 2 どこを活用したいか（配置）
- 3 今後どのように運営し、三原内港を盛り上げていきたか（運用方法）
- 4 三原内港の再生コンセプト

□：活用用途 □：運用方法



病院帰りに買い物ができる
野菜の産直等を地域おこし協力
隊等の力も借りて実施する

お年寄りも歩きやすく、
雨も気にせず歩けるよ
う屋根付きとする

三原駅と三原内港でひ
とつの駅である

内港周辺の商店街で夜市
等があるが、新規店舗や個
人店舗との連携は難しい

港を地元がイベント等で使える
ことを地元・観光客へPRする。
その賑わいに観光客が魅かれる
場所にする

人が行きたくなる場所
をつくる。先ずここで
PRする。

T字のデッキを整備し、
ここに登れば周辺のこ
とが全てわかるように
する

内港周辺の事業主や観光
客、市民が気軽に訪れ、
活用できる場所があると
よい

内港周辺の事業主や観
光客、市民がコミュニ
ケーションをとれるよ
うにする共同体等をつ
くる

陸と海の特産を地元の
住民も生活の一部とし
て買い物できる場所に
する

港湾ビルは必要な機能
だけとし、低層にする
ことで内港への視線を
通す

内港周辺の商店街ととも
にピアガーデン等、一
体感のあるイベントを行
う

周辺の飲食街から階段
やエレベーターでデ
ッキに登れる
(地下道はなかなか通
らない)

駐車場は必要なら建て
替える

1階は歩ける場所に、
2階以上に駐車場を設
ける

タコのまちのPRやライトアップ
で特別感を生み出す
花火や「やっさ祭」等、人の集
まれる場所をつくる

駐輪場は明るく、きれ
いな場所にする

帝人用地からの景観をPRするこ
とが重要
行きたくなる場所にする

大勢の観光客を受け入れる場
所と飲食施設をつくる
フィッシャーマンズワーフ等

市独自の親水性ある空間を
つくる。足湯や遊具、飲食
等を導入する
子どもが水辺に親しめる空
間をつくる

島民は病院や学校、
仕事のために利用す
る。水上交通はな
くはならないもの
である

生活動線としての必要性を強化す
るために、人口を増やす
その受け皿となる仕事を増やす
若者を増やす

生活動線か、観光動線か、
どちらが主体であるかを考
える。Dグループは生活動
線を主体として考えた。

観光客は最近増えて
いるサイクリストを
ターゲットにしては
どうか

三原内港再生基本計画策定に係るワークショップ（第2回） 各班の主なご意見



三原内港再生コンセプト

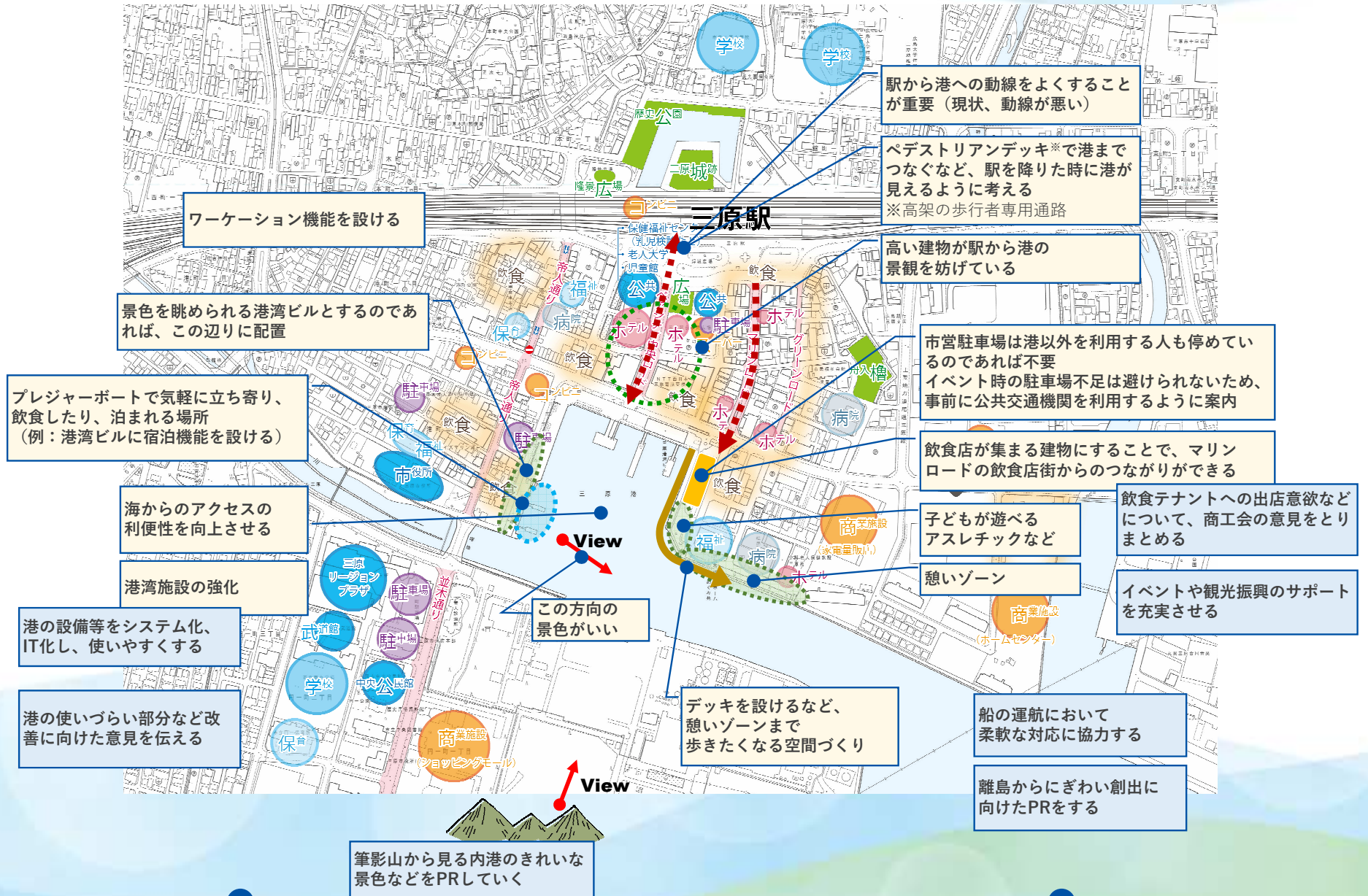
つなぐ

（駅と港、周遊施設と港、離島と港、空港と港）

議題
凡例

- 1 三原内港をどう活用したいか（活用用途）
- 2 どこを活用したいか（配置）
- 3 今後どのように運営し、三原内港を盛り上げていきたか（運用方法）
- 4 三原内港の再生コンセプト

□：活用用途 □：運用方法



三原内港再生基本計画策定に係るワークショップ（第2回）
各班の主なご意見



三原内港再生コンセプト

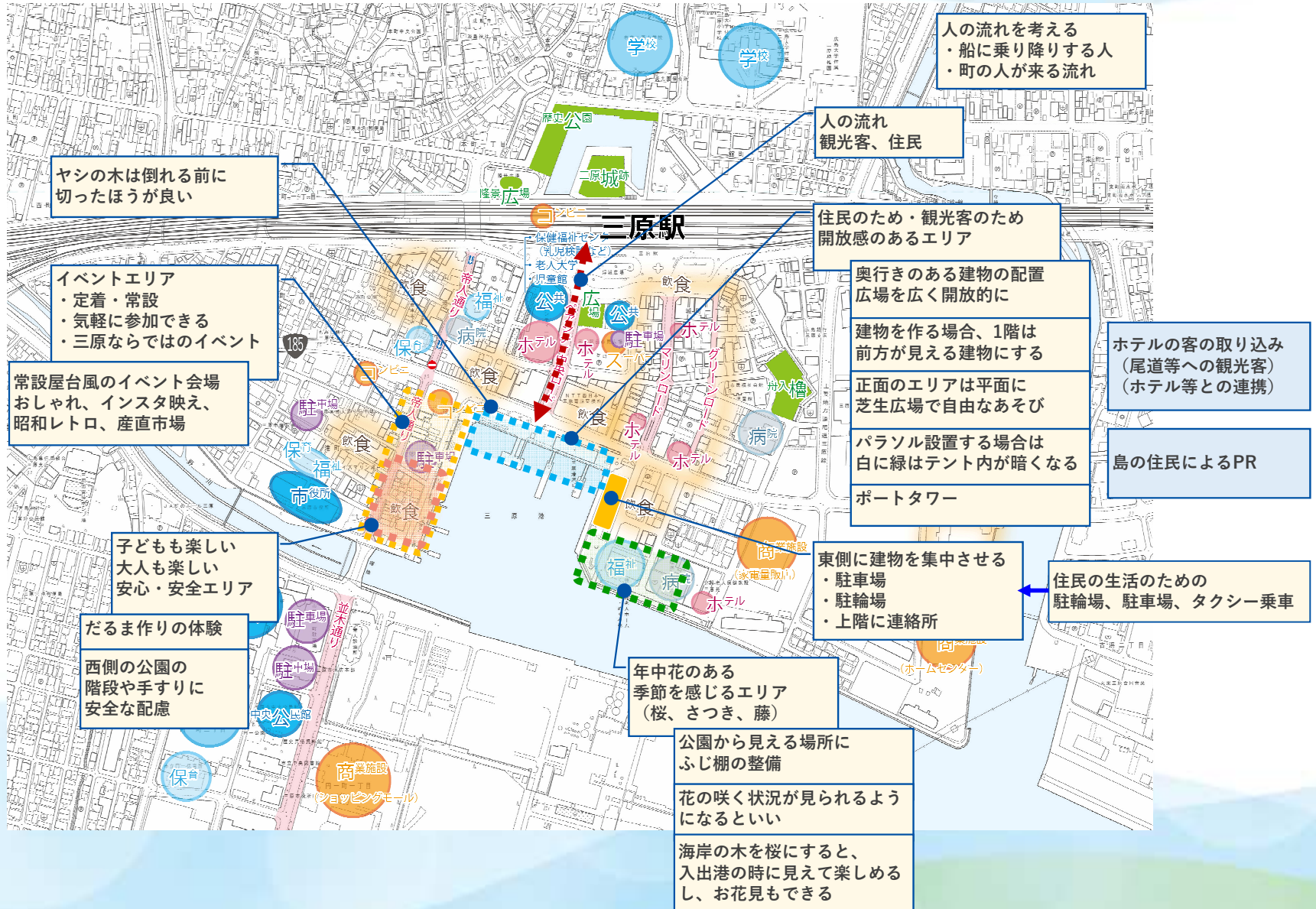
港から魅力発信!

～新幹線からすぐ港！～

議題
凡例

- 1 三原内港をどう活用したいか（活川用途）
- 2 どこを活用したいか（配置）
- 3 今後どのように運営し、三原内港を盛り上げていきたか（運用方法）
- 4 三原内港の再生コンセプト

□：活川用途 □：運用方法



地元の店舗と
連携した取組み

地元の学生、大学生など
と連携した取組み

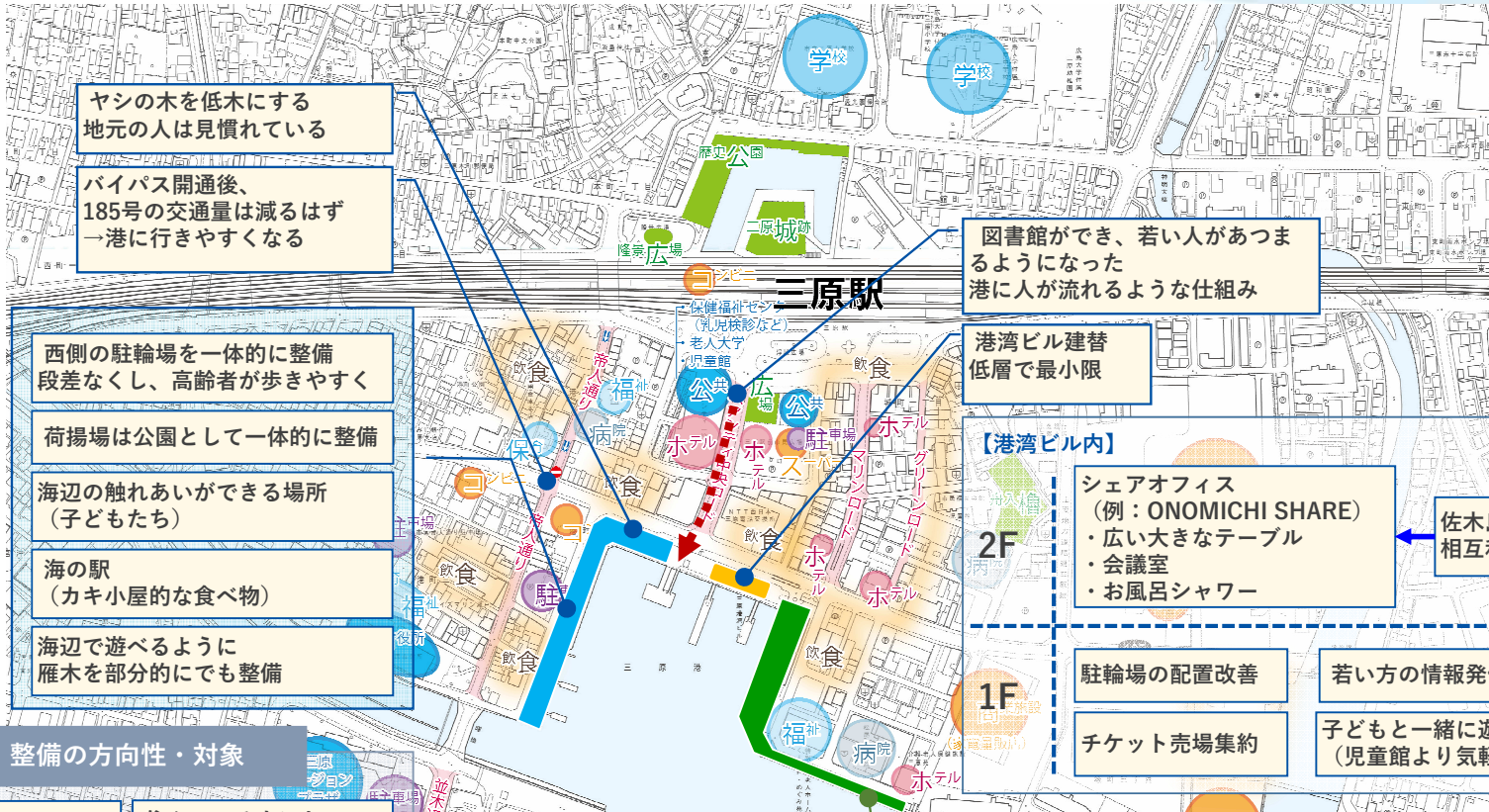
三原内港再生基本計画策定に係るワークショップ（第2回）
各班の主なご意見



三原内港再生コンセプト

水際生活（すいさいせいかつ）
～三原ハーバーランド～

- 議題
- 1 三原内港をどう活用したいか（活用用途）
 - 2 どこを活用したいか（配置）
 - 3 今後どのように運営し、三原内港を盛り上げていきたか（運用方法）
 - 4 三原内港の再生コンセプト
- 凡例
- ：活用用途
 - ：運用方法



ピアホールガーデン
花火見ながらビール

整備の方向性・対象

住民の愛着	住んでいる人にとって 居心地の良い
段階的に進める	帝人用地と一体整備 “神戸ハーバーランド”
五感で感じる	思い出になる場所 夜も明るい雰囲気
ロードバイクで島へ渡り、おしゃれな雰囲気味わう	おしゃれな雰囲気を港 全体に反映させる (港に行くことがステータスとなるような場)

- インターロッキング
ウッドデッキでつなぐ
- 防波堤機能残しつつ
全体的なバリアフリー化
- 地元の人の散歩コース
- 色々な団体が日替わりで
利用する
- 誰もが利用できる
- 利用規約を決めてだれでも
使いやすい場所
- 電気・水道の設備整備
(イベント利用)